

ICTを活用した授業実践

～遠隔授業の事例紹介～

新型コロナウイルス感染症対策により、授業形態はさらに多様化しており、各大学では特にオンライン形式での授業方法について様々な工夫がなされています。

本FDでは、ICTツールの活用による学生の能動的な学修を促す効果的な教育方法について、2名の講師の遠隔授業の事例を紹介し共有することで、教育の質向上を目指していきます。

また、市川市教育委員会による特別講演において、初等中等教育機関のICT利用の現状について理解を深め、社会の変化に合わせた大学教育改革に繋げる機会にしたいと考えています。

【開催日時】 2021年10月23日(土) 14:00～15:20

【実施方法】 Web会議システム「Zoom」によるオンライン配信

【対象者】 大学コンソーシアム市川参画大学及び他大学教職員等 (参加無料)
※職員はSD研修会として実施します。

【プログラム】

- ・挨拶 大学コンソーシアム市川 副会長 和洋女子大学 学長 岸田 宏司
- ・特別講演 「市川市のGIGAスクール構想と現状」
市川市教育委員会 学校教育部 指導課 主査 小谷 春晃
- ・講演1 「オンライン授業における双方向性の確保について」
東京経営短期大学 経営総合学科専任講師 中溝 一仁 (担当科目: 経営学入門 他)
- ・講演2 「オンデマンド型演習科目「翻訳入門」の事例紹介」
和洋女子大学 国際学部助教 坪野 圭介 (担当科目: 翻訳入門 他)

※詳細は裏面参照

【申込方法】 2021年10月15日(金)16時まで、
こちらのQRコードよりお申し込みください。

※大学コンソーシアム市川参画大学教職員は、
所属大学の担当窓口へ直接お申込みください。



【問合せ先】 大学コンソーシアム市川 教育活動部会

(〒272-8533 市川市国府台2-3-1 和洋女子大学 教務課)

TEL 047-371-1124

E-mail wayo-consortium@wayo.ac.jp

【主催】 大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム

●コンソーシアムとは、法人・団体などが特定の目的のために結成される共同体をいいます。

●「大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム」は、市川市内にある和洋女子大学、千葉商科大学、東京医科歯科大学教養部、昭和学院短期大学、東京経営短期大学及び市川市、市川商工会議所により設立され、地域の高等教育及び地域社会の発展に寄与することを目指しています。

●本FDは、和洋女子大学、東京経営短期大学が担当校として運営いたします。

【プログラム詳細】

全体進行：東京経営短期大学 こども教育学科教授 佐久間 康

| | |
|------|--|
| 挨拶 | 大学コンソーシアム市川 副会長 和洋女子大学 学長 岸田 宏司 |
| 特別講演 | 「市川市の GIGA スクール構想と現状」 市川市教育委員会 学校教育部 指導課 主査 小谷 春晃 いちかわ GIGA スクール構想の内容と具体的な取り組みについて紹介します。あわせて、市内初等中等教育機関の ICT 利用の現状と課題についてお伝えできればと思います。 |
| 講演 1 | 「オンライン授業における双方向性の確保について」 東京経営短期大学 経営総合学科専任講師 中溝 一仁 (担当科目；経営学入門 他) 新型コロナウイルス感染症の流行により授業のオンライン化が進みましたが、ポストコロナにおいてすべての授業が対面に戻るとは限りません。今後はオンラインのメリットにも着目する必要があると考えられます。学生の集中力やモチベーションを高めるべく導入したオンライン授業における双方向性について、事例をもとに報告いたします。 |
| 講演 2 | 「オンデマンド型演習科目「翻訳入門」の事例紹介」 和洋女子大学 国際学部助教 坪野 圭介 (担当科目；翻訳入門 他) オンデマンド型の遠隔授業は、双方向的なコミュニケーションに向かないと思われがちですが、学生にじっくり考えたうえで意見を出してもらったり、教員が丁寧にフィードバックを返したりといった、時間をかけたやりとりには適しています。「翻訳入門」という授業での取り組みを紹介しながら、オンデマンド型の利点を検討してみたいと思います。 |
| 総括 | 大学コンソーシアム市川 推進委員 東京経営短期大学 経営総合学科教授 岩淵 昭子 |